



# 2月の健康コラム

Vol. 119

## 危険な節足動物

### 危険な外来節足動物

#### 特定外来生物

人間の活動により他地域から持ち込まれた外来生物のうち、日本在来の生態系や農林水産業、人の生活に悪影響を及ぼす恐れのある生き物を言います。

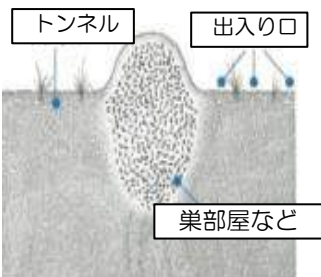
特定外来生物の動植物107種類のうち、節足動物である昆虫類は21種類、クモ類は6種類が指定されています（2018年4月1日時点）。このうち大阪府近辺で遭遇する可能性の高い外来節足動物について説明します。

#### ヒアリ



体長2.5～6mmの、主に赤茶色のアリで、高い採餌能力や防御物質の分泌、働きアリの侵略により他種のアリと競合し駆逐する性質があります。南米原産ですが、亜熱帯、温帯でも生息が可能で、アメリカ、中国、オーストラリアなどの太平洋周辺の国々に移入分布し、現在も生息域を拡大し続けており、我が国への侵入を警戒する重要性が高くなっています。日本においては、2017年6月に初めて神戸港で侵入が確認され、大きな話題になりましたが、今のところ定着には至っていないと考えられています。

ヒアリの巣は公園や草地の他、都市部の構造物や道の下などのヒトの生活環境に近い場所に作られることから、アメリカでは毎年1,400万人以上がヒアリに刺されているそうです。



ヒアリが作るアリ塚の断面



初期のアリ塚



中程度に発達したアリ塚



大きく発達したアリ塚（最大90cm）

お尻に毒針があり、刺されるとアルカロイド系の毒素によって非常に激しい痛みを覚え、水泡状に腫れます。さらに、毒に対してアレルギー反応を引き起こす例が北米だけでも年間1,500件近く発生しています。日本のアリは大きなアリ塚を作りません。大きなアリ塚を発見したらまたヒアリかなと思ったら、触らずすぐに地方環境事務所か都道府県の環境部局に通報しましょう。もし刺されて、少しでも異常を感じたら、すぐに近くの病院を受診しましょう。その際は、アリに刺された旨を伝えてください。ヒアリの毒への反応は人によって大きく異なります。

## ヒアリに刺された時の対処法

### ●刺された直後の対処

20～30分程度は安静にし、体調の変化がないか注意します。

現場で可能な処置としては「ムヒ」などの抗ヒスタミン軟膏またはステロイド軟膏を塗って、冷やします。

軽度の症状のみであり症状が悪化する様子がなければ、ゆっくりと病院を受診しても大丈夫です。


### [病院へ行く時の確認事項]

- 1) 刺された部位、数
- 2) 刺されてからの時間
- 3) 蕁麻疹、悪心、寒気、動悸、呼吸困難など
- 4) 過去にアリやハチに刺されて具合が悪くなったことがあるか

### ●容体が急変した時

症状は急速に進むので、とにかく一番近い病院を受診する。（救急受け入れのある病院であればなおさら良い）「アリに刺されたこと」「アナフラキシーの可能性があること」を伝え、すぐに治療してもらいましょう。

# ひありおくやみ

ひ	ひやす。局所を冷やして炎症を少し抑える。	
あ	あらう。毒を洗い流す。	
り	リスクの認識。刺された危険をちゃんと理解する。	
お	おくすり。抗ヒスタミン薬などを適切に使う。	
く	やすむ。動くと毒が回るので20～30分間安静に。	
や		
み	みまもる。周囲の人は、容態が急変しないか見守ってほしい。	

## セアカゴケグモ



オーストラリア原産の毒グモです。1995年に大阪で初めて確認されて以来、わが国でも広く定着しています。毒を持っているのはメスのみですが、メスの体長は10～14mmで、背部と腹部に砂時計型の赤または橙色の縦斑紋があるのが特徴です。咬まれることにより被害に遭います。オスは2.5～3mmで赤い斑紋はありません。卵のうは乳白色または黄褐色で、形は球形です。コンクリート建造物や器物の窪みや穴、裏側、隙間、管渠などに巣を作り、ヒトの生活環境周辺に生息が可能です。

### 身近なところでは・・・？



排水溝のふたの裏や側面



自転車・バイクの泥よけ・サドルの裏



建物基礎に設置された水切り板の裏



プランターの持ち手部分



屋外に放置された履物



よう壁等の水抜き管内



公園の遊具

セアカゴケグモは強い毒性を持っていますが、突かれると驚いて死んだまねをするなど、攻撃性もなくおとなしいクモです。素手でさわらない限り咬まれることはありません。咬まれると神経毒の $\alpha$ -1ラトロトキシンが注入され、はじめに針で刺したような痛みを感じます。やがて咬まれた部分のまわりが腫れて赤くなり、次第に痛みは全身に広がります。悪化すると、多量の汗をかいたり、寒気、吐き気などが現れることもあります。通常は、数日から数か月で回復する例が多く、咬まれても重症になることはほとんどありませんが、オーストラリアでは死亡例も報告されています。クモに咬まれたら、余分の毒を流水で洗いおとします。できるだけ早く病院に行って治療を受けることが大切です。その際は、背や腹の赤いクモに咬まれた旨を伝えてください。

井上病院附属診療所 健診センター

文：和田正明

